

音楽科学習指導案

日 時：平成27年11月12日（木）第5校時

場 所：音楽室

対 象：3年A組（男子21名、女子14名、計35名）

授業者：教諭・西山 泰子

1 題材(単元)名

ポピュラー音楽の魅力

2 題材(単元)について

(1) 生徒について

生徒たちは、常に真剣に音楽の授業に取り組んでいる。積極性には男女差があるものの、一つ一つの活動に興味を示し、集中力を持って取り組んでいる。

アンケートの結果からわかるように、先生や友達の考えを聞くなどの受け身の活動は、自己評価も高いものの、自分の考えについて理由や根拠を持って話すなどの活動は苦手である。

	3		4		5		8		9		10	
項目	自分から進んで授業にのぞんでいる		授業中は集中して取り組んでいる		学習課題を意識して授業を受けている		自分の考えについて理由や根拠をあげることができる		他の人の意見と比べながら自分の意見を考えることができる		先生の話や友達の考えなどを真剣に聞いている	
全体	78%	22%	94%	6%	64%	36%	44%	56%	66%	34%	84%	16%
男子	72%	28%	89%	11%	56%	44%	22%	78%	50%	50%	78%	22%
女子	86%	14%	100%	0%	71%	29%	71%	29%	86%	14%	93%	7%

音楽表現の創意工夫については、音楽の雰囲気を感じることができ、音楽で表現したいイメージや思いを持っている、しかし、その思いを音楽的な言葉で表現する学習は、それほど多く体験していないこともあり、あまり積極的ではない。音楽表現の技能については、音楽表現をするために必要な技能を身につける学習に時間がかかり、歌詞の内容や曲想を生かした曲にふさわしい表現や、声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現ができるまでには至っていない。鑑賞の能力については、多様な音楽を聴き、そのよさや美しさを味わおうとして入るものの、その理解は感受にとどまってしまう生徒が多く、音楽を形づくっている要素や構造や曲想とのかかわりを理解するまでには至っていない。

今回、身近なポピュラー音楽に取り組ませることで、どの生徒も積極性を持って授業に参加し、自分の考えや感性を価値あるものとしてとらえ、さらに生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てたい。

(2) 教材について

本題材は、学習指導要領[第2学年及び第3学年]2内容「B鑑賞」の(1)ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠を持って批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。」[共通事項](1)ア「音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。」イ「音楽を形づくっている要素と、それらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。」をもとに設定している。

鑑賞の授業を通し、その表現の特徴を知覚し、雰囲気を感じて楽しむことを楽しませたい。本教材により、多くの音楽表現に触れることで、さらに深く音楽を味わわせ、楽しむ視点を学ばせたい。

(3) 単元の指導にあたって

指導にあたっては、さまざまなジャンルのポピュラー音楽を聴き比べることで、音楽を形づくっている要素や構造の生み出すそれらの曲想を理解させることができると考える。

さまざまなジャンルのポピュラー音楽の成り立ちを知ることにより、その楽曲本来の味わいや表現の特徴などの理解につなげることもできる。

いわゆるJポップなど、現在、身の周りにあるさまざまなポップスはこれらポピュラー音楽の影響によってできていることを理解させることができると考える。

また、プレゼンテーションに取り組むことで、楽曲の魅力とその根拠について、自分の言葉で説明することができ、思考・判断だけでなく、表現の能力も高めていきたいと考えている。

3 単元の指導目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- ①ポピュラー音楽を聴いて、その特徴を味わおう。
- ②曲のよさをプレゼンテーションしてみよう。

(2) 単元の評価規準

ア：関心・意欲・態度	エ：鑑賞の能力
①さまざまなポピュラー音楽を聴き比べて、音楽を形づくっている要素や構造の働きが生み出すそれらの曲想の違いに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている ②音楽の聴きどころを見つけ、その根拠を言葉で表す学習に主体的に取り組もうとしている。	①リズム、旋律、テクスチャ、音色等の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ②聴きどころを自分で選び、根拠をもって価値を述べるなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

4 単元の指導計画及び評価計画

時間	ねらいと学習活動 ◎ねらい ○学習活動	「音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、その根拠を言葉で表すことができる。」	評価規準	評価方法
1	◎音楽を形づくっている要素や構造の生み出すそれらの特徴を理解する。 ○さまざまなジャンルのポピュラー音楽を聴き比べ、それぞれが気に入った点とその理由をメモする。	わかる	ア① ア②	観察評価 ワークシート
2	◎さまざまな曲の成り立ちを知ることにより、その楽曲本来の味わいや表現の特徴などを理解する。 ○それぞれの曲の、ジャンル名・発祥地・歌の場合どこの国の言葉でつくられているか、曲を支配するビート・使われている主な楽器について知る。	わかる	ア② エ①	観察評価 ワークシート

3	◎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって批評する。 ○メモした点の根拠を、音楽を形づくっている要素の働きとの関係からも探り、言葉でまとめる。 できる	ア② エ①	観察評価 ワークシート
4	◎音楽の聴きどころを見つけ、その根拠を言葉で表すことができる。 ○自分の好きな曲の気に入っているところ、印象的なところをメモする。 わかる	ア② エ②	観察評価 ワークシート
5 本時	◎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって批評する。 ○メモした内容の根拠を、音楽を形づくっている要素から明らかにし、プレゼンテーションできるよう工夫して原稿を作る。 できる	ア① エ①	観察評価 ワークシート
6	◎聴きどころを自分で選び、根拠をもって価値を述べるなどして、音楽のよさや美しさを味わっている。 ○互いにプレゼンテーションし合い、それぞれの曲の聴きどころ、魅力を伝え相互評価する。 できる	ア② エ②	観察評価 発表

5 本時の指導

(1) 指導目標

自分の好きな曲の魅力の根拠を明らかにし、プレゼンテーションの原稿を作成する。

(2) 本時の評価規準

評価の観点	「概ね満足である」と判断される状況(B) (評価方法)	支援を要する生徒への具体的な手立て
【関心・意欲・態度】	音楽の聴きどころを見つけ、その根拠を言葉で表す学習に主体的に取り組もうとしている。 (観察評価)	学習プリントを利用し、自分の考えをまとめさせ、学習内容に対する意識を高める。
【鑑賞の能力】	聴きどころを自分で選び、根拠をもって価値を述べるなどして、音楽のよさや美しさを味わっている。 (ワークシート)	音楽を形づくっている要素を掲示し、根拠を述べやすくしたり、机間巡視をし、助言する。

(3) 校内研究との関連

研究主題 主体的に学ぶ生徒の育成～「わかる」「できる」喜びのある授業について～

①育てたい生徒像

本校音楽科として育てたい生徒像は「音楽活動の楽しさを体験することで、多様な音楽のよさや美しさを味わい、音楽によって生活を明るく豊かなものにできる生徒」である。

②主体的に学ぶ生徒の育成～「わかる」「できる」喜びのある授業のための実践

ア 学習課題の提示：何をやればよいか。何がわかればよいか。何ができればよいか。興味関心をひく課題やゴールが見える課題設定の工夫。
イ 発問の工夫：生徒にわかりやすく、簡潔で丁寧な説明を心がける。
ウ 学び合う場面の設定：お互いの意見を出し合い、学び合う場を設定する。
エ 生徒の「声」が聞こえる授業：授業中の生徒のつぶやきや何気ない言葉でも大切にすると雰囲気を作りながら、「わかる」「できる」喜びを感じ取ることができるよう心がける。

(4) 指導の構想

- ①音楽を形づくっている諸要素をより印象的に知覚させたい。
- ②自分の考えを持ちその考えの根拠や理由を挙げて意見交流ができるように、グループ活動の場を設ける。
- ③プレゼンテーションに取り組むことで、楽曲の魅力とその根拠について、自分の言葉で説明することができるよう、思考・判断だけでなく、表現の能力も高めていきたいと考えている。

(5) 本時の展開 は本校の研究に関わる手立てや工夫

段階	学習活動及び学習内容	指導上の留意点及び評価
導入 5分	1. 既習曲の合唱をする。 2. 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学習課題 自分たちの好きな曲の魅力の根拠を明らかにし、プレゼンテーションの原稿をつくろう </div>	・のびのびとした発声で歌わせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; display: inline-block;"> 本時ゴールを明確にする課題設定 </div>
展開 38分	3. 音楽を形づくっている諸要素について復習する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 既習事項の確認 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px auto; width: fit-content;"> わかる </div> 4. 自分たちの好きな曲の気に入っているところ、印象的などところの特徴を見つけ出し、その根拠を明らかにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px auto; width: fit-content;"> わかる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px auto; width: fit-content;"> できる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; display: inline-block;"> 学び合う場面の設定 </div> 5. 学習プリントに沿ってプレゼンテーションの原稿を作る <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px auto; width: fit-content;"> できる </div>	・諸要素を提示し、簡潔に説明する。 ●【関心・意欲・態度】(観察評価) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 音楽を形づくっている要素や構造の働きが生み出すそれらの曲想の違いに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 </div> ・グループ毎に話し合いをさせる。 ・グループ内で役割分担をし、スムーズに話し合いが進むようにさせる。 ・学習プリントに記入させる。 ・3の説明を生かし自分の考えを学習プリントに記入させる。 ・記入後、グループで確認する。 ●【鑑賞の能力】(ワークシート) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 音楽の聴きどころを見つけ、根拠を言葉で表すことができる。 </div> ・グループの活動で原稿作成を進ませる。 ●【関心・意欲・態度】(観察評価) ●【鑑賞の能力】(ワークシート)
終末 7分	6. 今日の授業の振り返りをする。 7. 次時の予告を知る。	・学習課題、根拠を取り入れた原稿を作ることができたかについて発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; display: inline-block;"> 生徒の言葉によるまとめ </div> ・次時の内容を知らせる。

(6) 板書計画

学習課題：自分たちの好きな曲の魅力の根拠を明らかにし、プレゼンテーションの原稿をつくろう

秘密を解く鍵（根拠）

速度

強弱

音の高低

リズム

音色

旋律

形式・構成

プレゼン準備プリント
の記入しているものを
掲示する

プレゼン原稿プリン
トの記入しているも
のを掲示する